

南国インターチェンジ

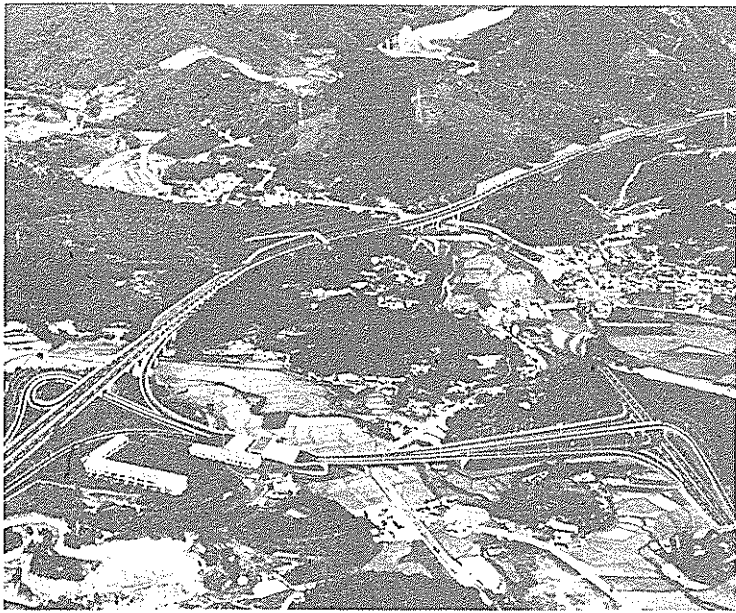
。 。 工事始まる

南国
大豊

62年秋開通を目指す

六十二年秋開通を目指し工事が進む四国横断自動車道の大豊―南国間で、南国インターチェンジの工事が領石で始まることになり四

月五日、安全祈願祭が現地で行われ、大豊―南国間は、大豊町川口から土佐山田町を経て岡豊町等の川



南国インターチェンジ完成予想図

工事が始まったインターチェンジの現地（領石）



までの二十二町。用地買収もほぼ終え昨年十一月、同インターチェンジを含む穴崎―領石間（延長七百四〇）の工事が発注されたことで、全線発注済みとなり六十二年秋開通に向けて、いよいよ工事も本格化することになりました。南国インターチェンジは、国道32号と県道領石後免線の交差点か

ら北西に約百メートルの部分。自動車道は、才谷、穴崎を経て北から領石のインターチェンジに入り、西へ国道32号を越え高知東道路へと結ばれます。

安全祈願祭には、日本道路公団



高松建設所の黒木敏雄所長、小笠原市長、地元、工事関係者ら五十人が参加。黒木所長らがくわ入れをし、工事の安全を祈りました。

楽しく地引き網

障害者80人が参加

快晴の三月三十一日、恒例の身体障害者地引き網交流会（市身体障害者協議会主催）が浜改田の海岸で、会員ら八十人が参加し行われました。

日ごろ家に閉じ込めりがちな障害者の皆さんが、集い語らいの場として毎年開かれていたもの。午前十時過ぎ、仕掛けられた網がまず機械で引き寄せられ、海岸に近づいたところで、みんなが協力、ヨイショヨイショと引き上げました。岸辺近くに寄せられたところで、大漁のため網が破れるハ



地引き網を引き、楽しく交流を深めた

プニングもありましたが、飛び跳ねる魚に大喜びでした。

その後、海岸で交流会に移り、まず徳橋義伸協議会長が「多数の方に参加していただきありがたい。今日出席できなかった方に、この感激を伝えていただきたい」とあいさつ。乾杯の後、午後二時過ぎまで、さわやかな日差しの中でお酒を酌み交わしながら楽しい時を過ごしました。